

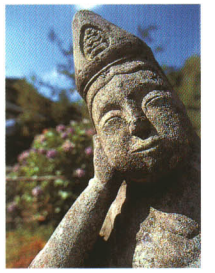


美しい森をつくる豊かでみずみずしい緑は、生き生きとした自然を象徴します。そして、森は古くから町を包んできました。

Forest green

四季をうたう、豊かな自然。

豊かな山があり、輝く水が流れる。
雪どけの芽吹き、夏の日差しに輝く水面、
赤や黄色に彩られる秋の山。
こんなにも豊かな自然がここにある。

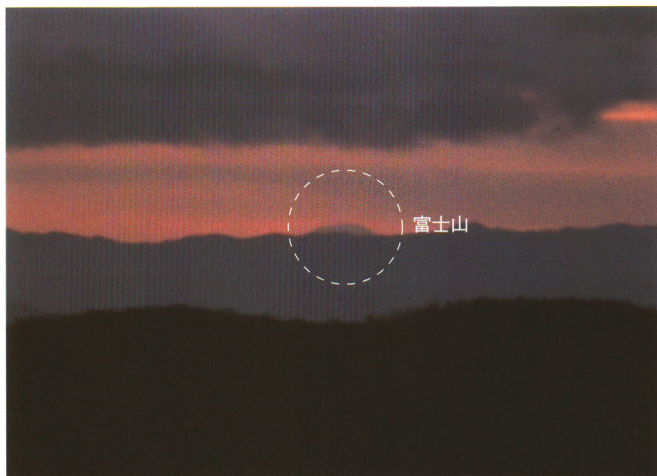


春

春、日山の雪がとけ麓に春風がそよぐ頃、町は淡いピンクに彩られます。東新殿地区にある「合戦場のしだれ桜」は推定樹齢150年、高さ17m、枝張り25mの大木です。この場所はかつて八幡太郎義家と安部貞任・宗任の合戦の地であったことから、この呼び名がつけました。毎年4月中旬ごろたわわに花を開き、人びとを魅了します。

このほかにも町内には三春の滝桜の子にあたる「福田寺の糸桜」や樹齢400年を数える「伊三郎桜」など、桜の名所がたくさんあります。若き日の伊達政宗が居城した「小浜城址」もその一つで、町民の憩いの場になっています。ここからは、西に安達太良や吾妻の山並みが一望でき、緑に包まれた岩代町を見渡すことができます。国指定天然記念物の「杉沢の大杉」は、推定樹齢1000年を超えるともいわれている高さ50mもの巨木です。また、県指定天然記念物の「東禅寺のめおと杉」は推定樹齢600年、高さはそれぞれ47mと44mの見事な杉で、安達三十三観音

めぐり十一番札所の東禅寺の境内に二本寄り添うようにそびえたつています。さらに、伊達政宗の父輝宗が育てた松を根付かせた、西念寺の「臥龍（がりゅう）の松」は、名前のとおり地をほう龍を思わせるような見事な枝ぶりです。この松は3度の大火に遭いながらも奇跡的によみがえったことから、「三甕（みかえり）の松」とも呼ばれています。日山（標高1057m）から富士山が確認されたのは平成12年1月10日のことでした。「富士山が見える北限の山」が証明された日です。天王山とも呼ばれるこの山の山頂には3つの神社が祭られ、毎年秋祭りにはそれぞれ三匹獅子舞が奉納され、この山が古くから信仰の山であったことがうかがえます。山頂からの眺めもすばらしく、東に太平洋、西に蔵王、吾妻、安達太良、磐梯、那須、二岐など東北の名山が一望できます。また、初夏には山頂付近に群生する山つつじがいつせいに花をつけ、登山者を魅了します。



日山から見た富士山



東禅寺のめおと杉



日山山頂に群生する山つつじ